

- 分自身の意識が大きく変わりました。
- ・ “WSの内容から、あまり必要性を感じない。関連大学の先生が来るわけでもないので座学でも十分じゃないかと思う。2日間集まるのは大変。
  - ・ 集まらなくてはならないことは人と人とのつながりを作ることではないのだろうか？半日とかのWSの方が参加できる薬剤師が増える気がする。”
  - ・ WSの内容の均一性を重要視するあまりタスクにも受講者にも負担が大きい気がする。
  - ・ WSは参加していないが、地区の実務実習担当者になっている方のために、アドバンスWSを開催して欲しい。立場が違う人が参加するWSも必要である。
  - ・ WSは大学の教育という意味では非常に重要だと思いますが、現場の薬剤師は教育者であるという意識から差があると思います。その意識の違いが各施設毎での実習レベルの差異につながっていると思っています。WSに参加することが実習生を受け入れるための必須条件である必要性も正直理解できません。全体の実習レベルを均一化し、さらにレベルアップさせるためには認定指導者のレベルアップが必須であると思うので、指導薬剤師認定後の教育にこそ力を注ぐべきなのではないかと感じています。
  - ・ WSは大変参考になり、自分としても志気を高められました。
  - ・ WSは得手不得手それぞれですが、不得手の方にこそ有意義なものになれば理想的ですね。
  - ・ WSは問題意識を共有でき、人の意見も聞くことができる非常に効率的かつ効果的な技法である。しかし、そのルールに従わず、自らの主張を貫く者が一人でもいると、意味のない時間を送る事となる。事前にWSの趣旨を参加者にきっちり伝えるべきと考える。
  - ・ WSをサポートしてくださった先生方のように、学生をサポート・指導していけたらと思った。
  - ・ WSを運営する立場となってしまったので、受講当時の喜びなどから遠のいてしまったので、あえてコメントは避けました。
  - ・ WSを義務化ではなく、自分自身に自信の無い方だけ受講すればよいのでは？
  - ・ WSを教育に取り入れる事は重要だと思います。反面、WSを(悪い意味で)利用する人が出てこないことを望みます。
  - ・ WSを受けた当日は興奮し熱い気持ちがありましたが、時間がたつにつれ、時間に追われての中で、よく分からないままに中途半端な意見のまま発表したりと、あの2日は何だったのか、何の意味があったのかと思うようになりました。
  - ・ WSを受けてから、実務実習までの間が長かったので、初年度は特にWSの内容を活かせなかった。
  - ・ WSを受けて指導薬剤師の認定を受けた後のフォローアップが必要ではないか？
  - ・ WSを受講したのがH17年なので、よくわかりません。
  - ・ WSを終えて時間が経ってしまっているので、記憶が定かではなく、具体的なコメントができませんでした。
  - ・ WS丸2日間だけで、すべての内容を理解して自分のものにするのは時間が短すぎる。フォロー等が必要だと思う。
  - ・ WS参加希望者で未だに参加できていない薬局薬剤師が多数居る事が問題。参加者には実習受入を義務化するくらいにすべき。
  - ・ WS時にもう少し全体の進め方が分かるような情報があると取り掛かりやすいと思う。
  - ・ WS自体はおもしろく勉強になったが、直接実務実習に役立つ点は少ない。
  - ・ WS受講から時間的に経過し過ぎて記憶が薄れて活用し難くなっています。今回のアンケートへの記載も記憶が曖昧です。申し訳ありません。
  - ・ WS受講時は病院薬剤師、現在は開局薬剤師で立場が変わった。薬剤部長であったためWS受講以前から、学生実習や薬学教育へは関心が深かったため、受講前後で大きな意識変化はなかった。
  - ・ WS終了後すでに3年が過ぎておりアンケートの内容が終了直後の内容になっていると感じます。申し訳ございませんが1、情報のみとさせて頂きます。内容と時期を考えられたらいかがですか？
  - ・ アカデミックな経験を再度することは学生を指導する上で必要と考えますから、もう少し時間を掛けて充実したものにして欲しいです。
  - ・ アドバンスWSの継続的実施の必要性、WSを受けてから期間が開いての実際的な受入は、WS等の内容が薄れている可能性あり
  - ・ アドバンスワークショップは是非開催すべきです。2日間のWSは、意識改革にはなりますが、持続性に欠けます。周囲を見回しても、WS参加した時点から受け入れまでの時間経過の中で意義や手法を定着させる為にも必要性を痛感しますし、比較的時間を置かず経験した方が有効だと思います。
  - ・ アドバンスワークショップにも参加したことがあり、回数を重ねる度にいろいろな方法が身についているような気がしました。初回のワークショップでの内容をはっきりとは覚えていないのですが、方法(KJ法やSGDなど)はワークショップに参加すると思いたすのだと感じました。
  - ・ あと半日くらい時間があればよかったと思う。もしくは二回に分けて行くことも必要かと考える。
  - ・ あまり、職員の多くない職場で業務していたので新鮮な気持ちで出ました。自分に時間のゆとりが出来たとき、もう1回受けてみたいと思っています。
  - ・ あまりにも前にワークショップに参加したので、今回のアンケートに詳しく回答ができずすみません。
  - ・ あまりに昔で細かいことは忘れてしまいました。
  - ・ アンケートとワークショップ受講との間に間ができて適切な回答ができなかった。申し訳ありません。
  - ・ アンケートに記入していない箇所が多くなり申し訳ありません。ワークショップや実習がおわって期間があいておりますので、実習内容について詳細を忘れてしまっている部分が多いです。あいまいなまま覚えてない部分は正直に無記入にさせていただきます。ワークショップのアンケートは終了後早い時期のほうが集計内容が充実すると思います。
  - ・ アンケートの中で、何点か記入に苦慮する項目があった(例:2-(5)-①複数選択ができない、4-(5)-②同項目がある)
  - ・ アンケートの内容に理解できない点や講演の感想を聞かされても聞いたのか忘れたのか記憶がない
  - ・ いろいろな職域の方が参加していたので考えの違い等が理解できたのは良かった。しかし、実際の実務実習にはいかせなかったと思う。現実的かわかりませんが同じ職域の方、近い環境の方がディスカッションすることにより現在の実務実習の課題を解決できたらと思います。
  - ・ いろいろな職域の方が参加していたので考えの違い等が理解できたのは良かった。しかし、実際の実務実習にはいかせなかったと思う。現実的かわかりませんが同じ職域の方、近い環境の方がディスカッションすることにより現在の実務実習の課題を解決できたらと思います。
  - ・ いろいろな問題点を把握し自分で解決法を考えながら他者との関係も構築できる非常に有効な場と思います。すこし時間の束縛が高いのが自分にとっては大変でした。
  - ・ かなり前に参加した者にとっては覚えていない点もあり今回のアンケートは意味がないように感じる。
  - ・ カリキュラムの作成主旨、方法は理解できたが、自分ひとりで考えるのは荷が重いと感じた。
  - ・ カリキュラムの内容を解説、または教え方をレクチャーするなどして欲しい。
  - ・ カリキュラムプランニングの作成過程はよく理解できたが、私が担当したユニットの内容が職域の違いで実際の実務内容が解りづらかった。また、プランニングのディスカッション中にスタ

- ツフの方に結論を誘導された感じで残念な気がした。
- ・グループ学習を学ぶ事も必要ですが？受け入れ施設での実践は実習生と指導薬剤師はマンツーマン学習です。
  - ・コアカリキュラムの見直し、逆にどうしたらよいか意見交換して提案していくような場があってもいいと思います
  - ・コアカリキュラムの内容は細かすぎると思う。
  - ・このアンケートですが、もう少し、ワークショップや実務実習に近い時期に行って頂きたいです。記憶が薄れる中の具体的な解答は、なかなか厳しいものがあります。
  - ・このアンケートですがもう少し早めにしてほしい、思い出すのが大変苦労し、忘れかけている事が多いので
  - ・このアンケートに返答するにあたり、ワークショップで学んだ内容をゆっくり振り返り、実務に活かす余裕がないままにしていることに気づきました。遅ればせながら資料を復習し、少しでも今後活かしたいと思います。
  - ・これからWSを受講する方は具体的な指導方法(実習テキストを用いて)も入れたほうがよいのかも。
  - ・これからもより多くの議論が活発化される事を期待しています。
  - ・これから色々な創意工夫から改善されてくることもあると思いますが、必要な能力は伸ばすワークショップにさせていただきたいと思います。関係者の方々も大変だとは思いますが、これからも、がんばってください。
  - ・これから薬剤師業務を担う若い薬剤師を養成してほしい(1万人養成でも実際に指導しない1人薬剤師薬局方や高齢薬剤師が多すぎる)
  - ・ずいぶん前のワークショップなので、記憶が曖昧です。できればもっと早い時期にアンケートを行っていただければと思います。
  - ・スケジュールがタイトすぎて、思考と理解が追いつかなかった。アドバンスWS等への参加で理解が深められ、その内容の方が有意義だった。でもWSでの経験があったから、アドバンスWSが有意義だったのだと思う。
  - ・スタッフがいかにもマニュアル通りにしゃべっているので、慣れた人に教えてもらいたい。
  - ・スモールディスカッションが良かった。
  - ・そもそも薬剤師になる以前に社会人としての教育が必要では？？知識しかない薬剤師が多過ぎる。
  - ・そろそろ全てにおいて見直しが必要。ワークショップ開催の目標が受講者に伝わっていない
  - ・だいたい前のことなのでよく覚えていませんでした。(5)-②、4項目中上2つは同じでは？
  - ・タスクとして複数回、参加したため、その都度新たに理解することができた点も多かった。定期的に開催され・参加することで、日常の業務も更に向上させることができると思う。
  - ・タスクの方も大変だと思います、お疲れさまです。
  - ・タスクフォースの皆様のおかげで、朝から夜まで2日間という日程でも疲れも感じることなく学べました。
  - ・タスクフォースの技量維持のための機会を設けて欲しい
  - ・”とても内容の濃い、あつという間の2日間でした。
  - ・ワークショップが終わってすぐ受け入れがあったのもっと生かしたかったのですが、生かされずに終わってしまいました。ただ、学生へのフィードバックは心懸けてやってみました。
  - ・病院の薬剤部の方や大学の先生との交流はとても貴重な経験となりました。”
  - ・とても良かったと思います。貴重な体験で感謝しております。
  - ・どんな質問も無意味ではない、すべては良い経験になるなど前向きに実習を行うことができました。これもワークショップに参加したおかげと思っています。
  - ・なかなか、実務では経験できないようなことをさせていただき、よかったと思う。ただ、それを実務実習になかなかいかすことができないのが残念です。もっと、実務実習に生かせるような内容があればいいと思います。
  - ・なかなか経験出来ないで良かったと思う。同じ目標に向かってる薬剤師との情報交換が出来たことが良かった。
  - ・なかなか受けたくても枠が少なく受講できない
  - ・なぜ初期の頃は薬剤師会の上層部の年寄りの方が内々でほぼ参加して若い人に情報がいていなかったのか、1万人達成したからと急激にワークショップが無くなったのかが不思議でならない。女性の多い職場であることを考えて欲しい。
  - ・にがてです。
  - ・ネタがいつも一緒なので更新のときなどは新しいものになるのを期待してます。
  - ・ハードなスケジュールでしたが、グループの人と交流が出来て良かった。2日以上の日になると参加が難しくなるためこのままの日程で良いと思います。
  - ・はじめに参加したWSからすでに7年ほど経っているため(認定WSからは3年ほど)そのときの記憶が薄く、質問意図が読み取れない部分があり訳ありません。
  - ・はっきり言って、3年も前のワークショップの内容を思い出すことは不可能です。ですので、このアンケートも記載できていないところがあります。正直言って、昨年の一期生を迎える時は、あのワークショップの内容では無理！と大変不安に思いました。週ごとのカリキュラムを作成したガイド本のほうが役に立ちました。
  - ・ハラスメントについて学習しましたが、薬剤師によって受け取り方かなりの差があるように感じました。改善の余地があると思います。
  - ・ファーマシューティカルコミュニケーションに関わるような内容。若輩者から諸先輩方には言いにくいような事をきちんと自覚していただけるような、気づきのきっかけになるような研修会を強く望みます。患者さんへの接し方には世代のギャップを強く感じます。
  - ・フィジカルアセスメントについて指導、教育できる4年制卒業薬剤師の育成講座。
  - ・もう受講したのが5年も前ですので、あまり内容を覚えていません。持ち帰った資料を見直しお答えしました。11週間の実習は県薬の作成したカリキュラムと学生の手参したカリキュラム両方を採用しました。あまり細かくしない方が良いと思います。
  - ・もう少し、ラフでいいのでは？時間の使い方・テーマの絞り方など。
  - ・モチベーションを高めるためにも、実務実習に関わる薬剤師の全ての人々が、ワークショップに参加できるとより良い、実務実習になると思います。
  - ・もっと多くの認定指導薬剤師を認定していくようなシステムにしないと、同じ薬局・薬剤師でばかりに負担が集中する。
  - ・もっと多くの薬局に受け入れてほしい
  - ・もっと地区単位、地域単位でのワークショップがあればよいと思います。また、病院と薬局が連携できるようなものがあるとよいと思います。
  - ・もつと薬学教育をする者としての自覚と責任を持たせる内容を教えるべきである。
  - ・モデルコアカリキュラムを実務実習に見合った内容となるよう改良すべきだと思う。
  - ・やらなければならぬが、厳しすぎではいけない
  - ・ゆとりのあるタイムスケジュール
  - ・ワークショップ 受講が5年前で 答えがピント外れで申し訳ありません。
  - ・ワークショップでの意見を広く公表してほしい
  - ・”ワークショップでの形成的評価は役立った。
  - ・実務実習を経験していない薬剤師にとっては、概略、方針がわかって良いと思う。”
  - ・ワークショップでは、グループの連帯感も培われ楽しく学習できたが、時間とスタッフの労力及び能力が必要な学習法であり、スタッフの皆様のご尽力に感謝し、この経験を少しでも活かす様にしたいと常に思っています。
  - ・ワークショップでは実習受入の基本は学びましたが、それを実

際現場でどのように活用していくのかとても大変でした。あまりにも漠然としていた様に思えます。もう少し具体例をあげ、実習の時の状況が思い浮かぶような場面も盛り込んでくれたらと思います。一度経験すれば流れがわかりますが、初めてのとき、まして指導薬剤師が一人のときは本当にできるのだろうかと不安になると思うので、少しでも安心できるような内容にして欲しいと思います。ワークショップのグループ分けは同じ職種の薬剤師でまとめたらいいと思います。

- ・ワークショップでやったことは6年制薬学生のカリキュラムや内容を把握するのはとても役立つものでした。しかしながら、実際薬学生を受け入れてみると実習カリキュラムの構成やSBOの到達目標を構成する上でかなり無理があります。私どものような小さな薬局では薬剤師は1~2名です。どうしても日常の業務が先になります。受け取った処方箋の内容からやむなくカリキュラムの変更もしばしばあり、なかなか思うようにはすすみません。もう少し全体を考えたカリキュラム構成ができるようなシステムがあるとよいと思います。SBOも何度も同じようなものがでてくるので、もう少しすっきりとわかりやすいものにしてほしいと思います。ワークショップでそのあたりも問題にしたらえらるとよいと思います。
- ・ワークショップで教えていただいた方法は理想的であるかと思いますが、すべての実習をこなすように指示されている現場には無理があると思います。選択性を持たせてもいいのではないかと思います。また評価ですが、個々の学生の成長度という事になるとはじめからこなせる学生とそうでない学生の差異はなく、ほぼ全て達成したとの評価となり、薬局にて評価を出す意味がないと思います...
- ・ワークショップで勉強させていただいたことはとても自分にとって勉強になったが、まだまだそれを現場でいかしきれていないように思う。
- ・ワークショップになかなか参加出来ない
- ・ワークショップに参加したくてもなかなか受けられない人がまだ多く、逆に立場が上なだけでどうでもいい人が多く受けている傾向がまだあります。本当に必要な人に受けさせてあげてほしいと思います。
- ・ワークショップに参加したのが、4年も前だったので正直忘れたことが多いです。すべてが意味合いがあるはずなのですが、実務実習にどれが結びつくのかの理解は難しいです。
- ・ワークショップに参加したのが2年前なので細かいことは忘れました。2日間という短い期間であったこともありますが、現在行っている実務実習には、あまり生かされていないような気がします。
- ・ワークショップに参加したのが3年前なので、あまり覚えていません。もう少し早くアンケートを取るべきでしょう。
- ・ワークショップに参加して、指導・教育について考える機会を得、大変役に立ちました。社会人として仕事を行っていく中でどこかの段階でこのような機会がほしいと感じました。特に小規模事業所で業務に当たることが多い薬剤師にはなかなか得がたい機会でした。
- ・ワークショップに参加して、自分が変わりました。
- ・ワークショップに参加してから時間が経過していて、すっかり内容を忘れてしまっている部分がありました。復習出来る機会があるとよいと思います。(例えば、WS修了者がWSを見学できるようにするなど...)
- ・ワークショップに参加してから実際の学生の受け入れまで期間が空いたことから、その意義をあまり実感出来なかった。是非アドバンスワークショップを行い、教育者としてのモチベーションを維持していく必要があると感じている。
- ・ワークショップに参加することで改めて薬局業務について考えるキッカケとなった。
- ・ワークショップに参加するひとは、それなりの志をもった方ばかりだとおもいます(休日に2日間もとられるのですから)ですから主催者はそのことを理解し、それなりの対応をすべきと考え

ます。実際私たちのグループでも過密はスケジュール等で体調を壊したひとが、私を含め4名ほどいました。またグループ発表のときに、他グループからの批判的な意見等があり、精神的にもダメージを受けた方もいます。(たまたま優しい方ばかりのグループだったのでフォローしましたが...) そんな時も主催者からは何らフォローもありませんでした。参加した回だけがそうだったのか定かではありませんが、今後も参加されるかたが同じような目にあわないようワークショップの体質改善を希望しています。(この旨は薬剤師会にも報告しました) ただ悪いことばかりではなく、これをきっかけにグループ内は結束しましたし、意見交換もよくできました。

- ・ワークショップに初めて参加させて頂き、色々な考え方を学ぶ事ができ、視野が広がりました。
- ・ワークショップのアンケートは参加直後に行ってほしい。
- ・ワークショップのアンケートを今頃送られてきても、その当時の思いは忘れてしまい、ありきたりな回答になりましたことをお詫びいたします。
- ・ワークショップの回数が少なく、参加意欲があっても参加できない薬剤師が存在していること。
- ・ワークショップの回数が少なくなっているため参加したい人が参加できずにいる。
- ・ワークショップの開催数を増やして欲しい
- ・ワークショップの参加から年月がたちすぎ、あまり内容を覚えていませんでした。すみません。
- ・ワークショップの先生方はとても熱心でお世話になりました。ありがとうございました。
- ・ワークショップの直接関係ないかもしれませんが、評価法について気になっていることがあります。評価方法のシステムが、各大学で違っていることです。受け入れる薬局側では、そのたびにスケジュールを作り直して対応しています。評価の連絡方法もまちまちです。使用したなかでは富士ゼロックスのものが大学とのメールも使えて便利でしたが、なにか統一する方法はないでしょうか。
- ・ワークショップの内容も分からず参加して、ディスカッション等、多少面食しました。
- ・ワークショップの年間開催回数を増やしてください。薬剤師、薬系大学教員の他に看護師、医師、管理栄養士他の職種の意見が聞ける場があってもいいかと考えます。
- ・ワークショップはあくまでも理想。現実を踏まえたものに変えていって欲しい
- ・ワークショップはあまり必要ないと思います。
- ・ワークショップはすべてが初めてのことばかりでした。段々、その重要性を感じてきて理解して活かすまでは難しいと思いました。将来の薬剤師の為にできること...という思いは強くなりました。
- ・ワークショップはとても良かったと思います。薬剤師は横の繋がりが希薄なので、数人でもこのような会を通して繋がりが持ててそこで相談し合っていると言う事も分かって欲しいです。なのでアドバンスワークショップが開催されるのであれば、是非ともスモールグループディスカッションにして仲間と共有する話題で実務実習に役立つ方法などがあれば良いと思います。
- ・ワークショップは開催に様々な大変な苦勞が関わっているにもかかわらず、実務実習にどこまでが強く関わるのかと思えることが少なくないように感じる事があった
- ・ワークショップは講演を聞くだけより勉強になって良いと思う
- ・“ワークショップは参加して大変良かった。
- ・薬剤師として今後の為に出来ることを見つけたことができた。
- ・実習生受入れ後の薬局の情報がほしい。
- ・こんな生徒がいた、こんな問題が起こった、こんな良い事があった、などを聞きたい。
- ・又、大学側から、生徒の反応を聞きたい。
- ・また”
- ・ワークショップは時間的な拘束が負担。実務実習はすでに始ま

っているので実務実習以前のワークショップはあまり意味がないと思う。現場の意見をいれてのカリキュラムの見直しといった次の段階にきていると思う。

- ・ワークショップは平成 19 年に受けたので、そのときの気持ちを持ち続けているか？と聞かれたら、やはりそうではないかもしれない。色々なことをほぼ忘れ、実際に実習生を受け入れるまで3年間あったのでちょっと間が空きすぎたと思った。実習生を評価するにあたっての勉強がたくさんできたことはとても良かった。参加できて良かったと思う。他職種と交流できた事は、本当にすばらしい時間だった。実務実習受け入れ先の担当薬剤師に対するフォローアップの体制をこれからも続けていって欲しい。今後も道東でのワークショップ開催を期待したい。まだまだ、指導薬剤師の資格をとりたい方がたくさんいると思う。それに伴うお手伝い等があれば自分の時間の許す限り協力したいと思う。
- ・ワークショップへの参加がもっと自由に出来るようになると良いと思います。
- ・ワークショップへの参加意義が把握できておらず急ぎよ参加したため、あらかじめ理解していたら取り組み方も変わっていたかもしれない。ワークショップでの資料を見直すことはなかったが、時々思い出すことはあったので、多少は役に立っていたと思う。
- ・ワークショップへの参加意図の各人相違点が大きいように感じます。ワークショップでのあの行動が楽しかったという人が多いのでは？
- ・ワークショップより期間がかなり空いてからの受入では、既にその知識も薄れておりフォローアップは必要。
- ・ワークショップより自分なりではありますがスムーズに実習を行えたと思います。
- ・ワークショップを開催していただきありがとうございました。
- ・ワークショップを経験していなかったら、とても学生さんを受けられなかったと思います。
- ・ワークショップを受けたのが数年前なので内容の記憶が定かではありません。
- ・ワークショップを受けたのはもう3年も前。今現在は実際に学生を抱えて試行錯誤を繰り返しているところである。学生個々の興味に応じてより有効な学習方略を日々悩んでいる毎日である。そんな時今更ワークショップがどうだったかというアンケートには有効に答えられる自信はない。もしかしたら今、自分が考えていることの基盤にワークショップで学んだことがあるのかもしれないけれども、意識に上ってくることはない。
- ・ワークショップを受けているときは、ついていくのに精一杯の状態だった。実際に実習をやって、改めて内容を振り返ったときに、より理解が深まったような気がする。
- ・ワークショップを受講し3年が経過した時点でのアンケートでは調査結果の信ぴょう性が低いと思います。受講後、1~2カ月で実施されると良いと思いますが・・・
- ・ワークショップを受講したからといってすぐに実習を受け入れできるレベルや指導方法が身につくわけではなかったため、カリキュラムをどうこなすのか、ここだけはこうやって下さいなど、実際の指導に役立つ内容をもっと増やすべきだと思います。指導に悩むカリキュラムをどう行かなどワークショップで解決する方法をSGDでやっても良いと思います。各薬局の指導者は孤立しがちだと思います。悩んだときに相談できるような横の繋がりになりえるワークショップを期待します。
- ・ワークショップを受講してから、かなり時間が経っていますので、忘れてることが多く質問に正確にお答えできていない部分があると思いますが、ご了承ください。
- ・ワークショップを終えた指導薬剤師が共通の合言葉「共に育つ」を言える結束を持てるようになると良いと思います。
- ・ワークショップを終えてだいぶたっておりますので、今になってのアンケートを送られても、正直内容はほとんど覚えておりません。

- ・ワークショップ形式の場合、参加者は少なくなるので、行政指導のように、個人名で徴収されても良いのでは・・・
- ・ワークショップ参加がかなり前だったので大部分は忘れしました。
- ・ワークショップ参加により、その内容や他の薬剤師、教育者からたいへんよい刺激を受けました。
- ・ワークショップ参加は順番待ち状態なので、1日に集約し、多数の薬剤師が受講できるようにするべきと思う。
- ・ワークショップ自体が1年以上前に受けたものなので、受けた内容を実務や実習に生かしていると思うが、どこをどう生かしているかと問われると、細かい内容は忘れてしまっているので回答に困る。実際は身について考えずとも実行している状態と思われる。
- ・ワークショップ受講時はまだ実務実習が開始されておらず、学んだことをどのように活かせばよいかがよくわからなかった。今は実習が始まったので他の実習生受入れ施設と情報交換の場があればと思います。またこれから受け入れる施設に対しても、受入れ経験のある施設から情報をあげたほうが良いのではないかと思います。
- ・ワークショップ終了時のスピーチで、受講内容を学生のために使うのではなく、自分たちのために活用しようとする内容の方が多いのには疑問が残る。何のためのワークショップなのか全く理解していない。
- ・ワークショップ待ちの方が多くいるようなので、受講の機会が増えて認定実務実習薬剤師が増えることを期待しています。養成に必要な人員の確保など問題もあるとは思いますが・・・
- ・委員の方に周りを取り囲まれてのセッションは好ましくないように感じます。
- ・意見交換できる機会を増やして欲しい。それと、実習を経験した今の状態と同じWSを受けてみたい。
- ・一人薬剤師が参加できるようなサポート体制が必要
- ・一人薬剤師で、参加したくてもなかなか参加できない場合もあると思います。2日連続ではなく、1日単位で2回にすることは無理でしょうか？(自分が参加できる日時が選べると、一人薬剤師でも参加できると思います。)
- ・一泊二日に限定せずに単位数を何日かに分けて取る事ができれば主婦の方たちにも多く参加できるのではないのでしょうか。
- ・運営される方の苦労は並大抵のものではないと思った
- ・何が何だか分からないうちに2日過ぎたが、医療人として教育にかかわりたいという熱い思いを持つことができた。思いを育てるのは何よりも大切と考えます。
- ・何について話し合うのか、その場で示される事に頭がついて行かなくて結構ストレスを受けました。
- ・何故ワークショップを受けるのか はじめに言って欲しい 何が狙いか教えて欲しい
- ・可能な限りワークショップを開いて、全国の薬剤師を実務実習認定薬剤師にして欲しい
- ・回を重ねることにより、内容を理解し、自由に意見も発言できるのではないかと思います。
- ・回数を減らさないでほしい、人数目標は達成されていても、実際に学生の指導をする指導薬剤師はそんなに多くないのではないかと危惧している。まだまだ増やさないといけないと思う。
- ・回数を減らさないでほしい、人数目標は達成されていても、実際に学生の指導をする指導薬剤師はそんなに多くないのではないかと危惧している。まだまだ増やさないといけないと思う。
- ・回数少ない。講習を受けてから3年も受講できなかったことに疑問あり。
- ・開催回数を増やす
- ・開催場所、時期、参加者の選定が明確でない。居住県内での開催を増やしてほしい。
- ・開催場所が(県内でも)遠い、応募人数の枠が少なくWS受けたくても受けられない人がいると思います。
- ・概念ばかりで具体的な指導の仕方がほとんど分かりませんで

- した。教育用語を勉強しに行ったようなものです。
- 各施設での実習生への受け入れ態勢ではなく、受け入れることの目的・意義などの話し合いの時間があれば良いと思う
  - 各施設に指導薬剤師 1 人ではなく、多くの薬剤師がワークショップを経験出来た方がよいと思います。
  - 学生が大学でどのような形で学んでいるのかを知りたいと思います。実習を行なった後で再びワークショップに参加するとともに有意義なる気がします。
  - 学生は、「薬剤師とは？」という疑問にも回答できない。指導者養成の前に、学生に薬学の基本教育が必要では？
  - 学生をどの程度まで、叱責して良いか。実習をしていて、これ以上はやってはいけないという程度では割って入ります。実際に働いている薬剤師では、その後厳しく注意します。薬剤師免許を持っていない学生なので、軽く注意をする程度にしています。免許を持っているか、持っていないかで線を引いています。学生をどの程度まで、注意をして良いのかわかりません。
  - 学生を教育するには、人生経験や実務経験が必要なので、条件を厳しくしたほうがよい
  - 学生を受け入れる前の WS への参加は実際の実務実習には役に立ったとは思えなかった。実習経験を経てさらにディスカッションする機会を設けた方が、学生実習が充実していくと思う。
  - 希望者が受講できるように、回数を増やして欲しい。
  - 希望者が全員参加できるようになると良いです。
  - 貴重な経験をありがとうございました。
  - 教育することの方法論を体験できたのはよかったですと思います。実際の現場では、日常業務をこなしながら行うので、計画どおりすすめることは不可能です。ワークショップの内容を直接、実務実習を行うことに役立terには経験と知識を積み重ねる必要があると思います。
  - 教育とは被教育者に価値ある変化をもたらすことである(細部は違うかもしれませんが)という言葉は強烈に印象に残っています
  - 教育について学ぶには、ワークショップに 1 回参加するだけでは不足です。でも、ワークショップに参加した経験が、実際の実務実習カリキュラムを作成し、実習生を受け入れている現状に役立っている、今は思うことができます。
  - 教育の考え方やカリキュラムの要素等 SBOs,LS 等については、ある程度理解したが、実際にスケジュールをたてるのには役にたはず難しかった。もっと具体的な実施内容について、どうすべきか教えて欲しい。学生にとって行った先の施設によって差がでるのは不幸なことなので、施設間であまり差が出ないよう指導すべきと考えます。
  - 教育の方法論を学ぶ、今まで関わったことのないことを学べて良い経験になりました。
  - 教育を「学習者の行動(知識・技能・態度)に価値ある変化をもたらすこと」と捉えている とワークショップの趣旨に書かれているのを再確認しました。実習生の意識革命をもたらせることの出来る薬局実習が出来るのだろうかと考えます。
  - 教育機関でない薬局薬剤師の場合、教育専門用語の事前レッスンの必要性を感じる。例えば、GIO、SBOs、LS、EV 等、なじみが薄く理解に少し時間を必要とした。
  - 教育者としての資格を与えるものなので、参加するだけで良いのかな?とも思います・・・
  - 教育者のレベルアップ。と 共有化。
  - 教育側のひとりよがりと感じる部分が多い。保険薬局等の現場の薬剤師の状況とかけ離れている。
  - 業務時間をつぶして参加してます。参加型実習以外、ネット等で情報入手できるので必要性を感じない
  - 近隣エリアごとのグループでのディスカッションを取り入れると良いと思います。
  - 具体性に欠ける。
  - 具体的な事例は個々によって違うので難しいと思うが、概念の話が多く理解しにくい。
  - 具体的な内容、実際に実習で利用できるものがないと思います。
  - 具体的に指導の内容をどのように確認するかなど始まらなければわからないことが多かった。申し訳ありません。WSの内容について記憶がほとんどなく、実際に始めてみて活用はしたのだと思うのですがどのように使っているかがわかりません。あまり参考にならないかもしれません。すみません。
  - 経験の浅いタスクフォースは、参加者として再度WSに参加してWSを中から見直すことができると良いのではないかと
  - 継続して実施していただきたいです。
  - 県単位のWSが開催出来れば参加者が参加しやすくなるかもしれません。
  - 県内で年に最低1回は行って欲しい。また、行う場合の告知を全薬局にわかる様にして欲しい。
  - “現在、実務実習はワークショップでの話し合いでも懸念されておりましたが、施設および指導者にバラツキがあります。学生が少しでも同条件の下、有意義な実習を行なえる様、指導内容を共有化する事。すなわち、指導薬剤師に対する教育も必要かと。今後ご検討いただければ願っております。”
  - 現在のワークショップの内容は理論的なものが多く、指導薬剤師の立場になって考えられていない。
  - 現在のワークショップは濃度が濃すぎる、薄めて回数を増やすべきだ。各地区薬剤師会と連動して薬剤師生涯学習とすべきだと思う。
  - 現在の状況が良く分からないのですが、ワークショップも少しづつより良く変化して内容も充実しているのでしょうか？基本は変わらないと思いますが。
  - 現在は短期間の WS ですが、参加者にもっと成果が出るような形にしてほしい。
  - 現在ワークショップの回数はぐっと減ってしまいました。埼玉県は以前から回数が少なく、参加を希望しても、何年も待たされていきました。学生実習の受け入れ施設はもう十分足りたのでしょうか。なかなか参加できずに認定実務実習指導薬剤師になれないケースが多く見られます。内容の充実はもちろんですが、ワークショップに参加できる機会そのものも増やしてほしいと思います。
  - 現在実務実習を受けていますが、ワークショップで教えていただいたことが役立っているのか疑問。実務実習の指導に教職者の知識が必要でしょうか？実務に沿ったワークショップを期待します。
  - 現実の実情を知ってそれに合う講義をするべき
  - 現場では、まだ実習指導薬剤師が不足しているので、ワークショップの回数を増やして欲しいと思う。
  - 現場でも活用できるような教育方法を教えてほしい。
  - 現状において、6年制に移行したこと自体に大変疑問を感じます。実務実習を受け入れて、実にまじめに取り組んでくれた学生もいるのですが、多くの学生において「出席すれば単位が取れる」との事前情報が流れており、11週間が過ぎるのを待っているように受け止められることありました。実習開始時と終了時に学生に「変化」がみられれば合格とのことですが、本当にそれでよいのでしょうか？ 知識面ではなく、態度の面で看護師の実習のように、やる気が無いと指導者に感じさせた学生については、実習中止などの措置も必要であると考えます。ワークショップについても、コアカリで詳細が決められており、薬局で教える内容を設定できるわけではないので、あまりワークショップでの経験は役にたちませんでした。むしろ、時間は経過していますが「教育実習」での経験の方がよほど役に立っています。
  - 個人的な意見として W・S の形成があまり得意でないので 2 日間の W・S は長丁場と感じました。実務実習指導薬剤師養成には 1 度の経験は必要な事かもしれませんが、実務実習を行う上で大学側と進捗状況を確認しながら生徒のレベルも考えながら行っていくことで十分に対応できると思います。指導薬剤

師が何度も W・S に参加する必要はあるのでしょうか？薬剤師といっても得意・不得意があり人前で何かすることに負担を感じてしまうのは私だけでしょうか？まだ数名しか学生の指導はしていませんが薬局の環境がとどのい学生の目標に到達できるように LS に従い行えば問題なく実習が行えると思います。

- 個人的に、物事の解決方法を見出すまでこのような方法があるのだと、眼からウロコ状態でした。このようなことが初めてだったので、実習生を受け入れるにあたり、それを、使うことができていなかったと、反省しています。ただ、現場は、十分見せれたと思います。
- 後にも先にも1回きりのWS。それも3年半も前のこととあって配布資料を引っ張り出さないと細かい事柄は、忘却の彼方へ消え去ってしまつてからのアンケート調査でした。自由に意見を出し合い、作業していく場において、積極的に参加していくおもしろさや討議内容をまとめていく達成感、人となりを観察し合う楽しさを体験できたということは、覚えています。このWSが実際どれだけ直接実務実習に役立つのかは、当時はわからなかったように思います。実際に二人の学生を指導してみて、ああこういうことを言っていたのかと、学習目標や評価について理解できたように思います。頭で考えてもわからないものを、実際に手を動かしてみてもやってみる、そういうWSを経験することは、実務実習の指導の上で、何がどう直接役立つのかというよりも、指導するという意識のあり方、「共育」という姿勢の育成に大いに役立つと思います。日常と違って、おもしろい時間でした。アドバンスWSも興味深いですが、参加する時間の取れないのが、勤務薬剤師の実態です。
- 後継者のために開催予定をハッキリ公表してほしい。
- 交通の便がいいところでやってほしい。
- 広域からの参加になっているので地域を絞って行うと共通の問題点、改善点がみえてくると思います
- 拘束時間が長く体力的に無理な部分もあったが、一度だけでは難しいので複数回の受講をしたほうが、より身につくと思いました。
- 講演を聞くだけでなく、自分で動くワークショップは有意義だと思います。
- 講習会を受けた時は重要性がわからなかった。今実習生を受けてよくわかった。
- 宿舎のような長時間の拘束 2 日間は正直大変だったので地区ごとで短時間で近くで受けられるとよい。
- 今だに、あのWSは何だったのか、という思いがあります。認定薬剤師に必要というだけで予備知識も何もなかったのか、何故こういう事をしなければいけないのか、という疑問がありました。WS中は必死でしたけど、今風のやり方のひとつと受け止めるだけで、現在もそのWSが今の指導にどう役に立っているのか理解していません。また押し付けはだめというながらこれらのやり方を押し付けられて矛盾を感じています。学生さんも認定薬剤師も皆、こういうのを乗り越えてきたという共通項は感じています。この人材養成型の教育を 40 年くらい前の某新入社員訓練で受けました。現在色々なところでこの方式が行われていて、またか！という思いがします。若い人材にはとなく、幾度も受ける新鮮味がなくなり新興宗教的な洗脳の仕方であり面白くありません。
- 今でもいい経験ができたと思っている
- 今の形式でも良いが、ロールプレイで学生を受け入れる練習をする機会があれば良いと思います。
- 今までになかった体験ができてよかったです。SGDのやり方はよい勉強になりました。
- 今までのような内容は終了し、実務実習に直結する内容に変更すべき
- 今までの薬局薬剤師業務の中で経験のなかった教育という任務の意義を認識させられて有意義だった。
- 今回のアンケートで、自分が受けたワークショップの内容を完全に忘れていて実感しました。もう 1 度振り返りたいと思いま

した。

- 今回のアンケートですが、実際のワークショップを受けてから時間が経ってしまっており、内容の記憶がうすれていますので、十分に答えられません。もっとタイムリーな時期のアンケートでしたら良かったです。
- 今回のアンケートについてですが、ワークショップ直後でない、もう 2 年以上経っているので、覚えてません。
- 今回のアンケートはワークショップに参加してかなり年月が経っており、記憶が薄れている部分があり、正確に答えることができなかった。できれば、昨年中に行なって欲しかった。また、ワークショップに参加したい薬剤師がなかなか参加できず、指導薬剤師が少ないので、もっとワークショップに参加できる体制を整えて欲しい。ワークショップで行なった内容が実際に学生を指導する上で日常業務を行ないながらの指導のため、理想と現実がかなり難しいと感じている。昨年と今年とⅡ期に 2 名ずつ受け入れて、すべてのSBOをほぼ行なうことができたが、コアカリキュラムのコマ数通りに進めることはかなり難しいのではないだろうか？
- 今回の震災により、関係資料をすべて流出してしまいました。関係資料等を頂ければ幸いです。
- 今後、6 年生を卒業した学生が指導することを想定した改訂コアカリになることを期待します。
- 今後、指導者を増やすためにも開催日や参加人数を増やしてほしい
- 今後の医療の進歩の中で薬剤師がやるべき仕事を夢見られる講演か座談会が欲しいです。
- 今後の医療の進歩の中で薬剤師がやるべき仕事を夢見られる講演か座談会が欲しいです。
- 今後の実務実習において、学生の評価方法の統一、事前打合せを地域で行う等、大学単位で行っている事を出来る限り無くしていく必要があるのではと思っております。より関わっている方々がスムーズに実習に臨める様、少しずつ変わっていかるとよいと思います。
- 今後は実習経験後の反省点を含め、改善策などを検討していきたい
- 今後も許される限り毎年ワークショップが開催されるよう望みます。
- 今後も指導薬剤師を増やし、より多くの方が指導できるようにしてほしい。
- 座学の募集人数に対してワークショップ参加可能人数が少なすぎる。
- 最近の参加者は、薬局で二人目、三人目の指導者候補になってきているので、いつまでも同じ内容を行う必要はないような気がします。
- 最後まで、目標や全体像・自分が何を獲得するのがわからないまま、部分的な討議を積み重ねたような印象でした。結局ワークショップと言うのはそういうものなのかも知れません。つまり、その場で何かを学ぶわけではなく、それに参加した後で考え方や行動が変化することが目標なのでしょう。だとすると、5 年もたってからこのようなアンケートをとるのでは、遅すぎるのではないのでしょうか。
- 昨年度、実務実習を 2 期ほど担当したが、教員の資質が問題であると感じたので、問題のあるような教員の指導から徹底的にしてほしい。
- 参加したのがかなり前なので実際に実習を受け入れる時に活用する内容に直接結びつきにくかったと思います。受け入れをしてからの実習もありかと思います。
- 参加してから時間が経っているため記憶が曖昧ですが、参加してよかったです。
- 参加するまでは不安だったが、いざ始めてみると思っていたほどの事はなく、あっという間の2日間だった。病院薬剤師・大学教員・他県の薬剤師の方々と交流ができ、楽しいひと時が過ぎた。ワークショップの内容については理論的にはだい

- たい解ったが、実際の現場で役にたったかと言われれば疑問が残る。配布資料は実習を行なう上で大変役にたった、ただし今年度は、地区の薬剤師会で毎月行なっている実務実習指導薬剤師研修会で、実務実習における各LSの問題点・要望の抽出について等の話し合いを行なっている。
- ・参加は大変でしたが、有意義でした。
  - ・参加希望者がいても、参加枠が狭かったり、一つの職場で一人しか受講させてもらえなかったり、質はともかく受講機会を増やすべきです。
  - ・参加型WSというのは自社の研修以外では初めてで、見ず知らずのチームメイトといきなり組んで、どうなることかと思った。結局、皆必死で各自の得意分野を生かしつつ協力出来たことは、大きな喜びとなった。日常業務に忙殺されていた自分にかなり良い刺激となり、終了後、しばらくは、疲れとともに心地よい余韻に浸っていた。議論が脇道に逸れたり、時間も無いのに訳の分からないことを話出す人が居たりとやきもきして、なんとか修正しよう！とか、分かる人たちだけでまとめてしまおう！…とするジレンマが、SGDの醍醐味でもあるが、見栄も体裁もかなぐり捨てて、他のチームの質問に挑戦できたのは、やはり良いチームメイトに恵まれたからだと感じた。
  - ・参加型の学習は学生時代には、体験しませんでしたので、これからは積極的に勉強したいです。
  - ・参加型の研修となるので、実際に体験できるため非常に有意義な研修になったと思います。
  - ・参加型の講習経験が少なかったのも、とても良い経験になった。同じような環境にいる人や全く違う立場の人達と交流ができ、参考になった。
  - ・参加型研修を体験してみる。という観点からは有効だったと思うが、実際に実習をさせるための研修ではなかったと感じている。丸2日間という時間が必要かどうかきもんに思う。
  - ・“参加型研修会へ2日間集中力をもって参加致しました。指導者の養成には、効果ある研修であったと思います。”
  - ・参加時期がかなり昔のことで記憶が定かではありません。実際、学生実習が始まってこれだというものはありませんが、将来を担う学生に指導する気持ちだけは持ち続けていきたいと思えます。
  - ・参加者が全国同じ程度の指導者になっているかどうか疑問に思う。
  - ・参加者の選定が不透明
  - ・参加人数に限られるので、地区薬剤師会の中には自分に都合が良い者を選んで出す役員がいる。もっと公平に多くの薬剤師が参加できるように参加人数を限定しないで欲しい。
  - ・残念ながら具体的に書けるほど、はっきりと覚えておりません。役に立っていることは確かです。昨年の最初の学生受入後に、本アンケートを実施頂ければ良かったのに…と思います。
  - ・指導薬剤師が教育者としての自覚を持つような講演も必要だと思う
  - ・指導薬剤師が定期的に意見交換ができる場がほしい。
  - ・指導薬剤師にステイタスがあると錯覚させるな
  - ・指導薬剤師になりたい人が自由に参加して資格を取れるようにしてほしい。役員に人選されるのはおかしいと思う。
  - ・指導薬剤師のレベル維持と向上の為に定期講演などの開催、ワークショップの関わり
  - ・指導薬剤師の人数の確保は必要であると思われるが、あまりにも質に差がありすぎる。適性や質の確保は必要であると思われる。よりレベルの高い指導者を新たに認定すると言ったことも必要ではないでしょうか。
  - ・指導薬剤師側の意識レベルはワークショップで高められていたが、現実の実務実習のむづかしさ。1人間との向き合い方。
  - ・指導薬剤師養成のワークショップにもっと参加枠を増やして欲しい。
  - ・施設コードがわからない、メールをおくったが返信がないのでこのまま送ります。期限をもう少し設けてほしかった。
  - ・施設ごとの環境の相違等によらず、実習生の評価が妥当に行われる為の基準作りが、必要ではないでしょうか。
  - ・施設枠にとらわれず、薬剤・薬学に従事している多くの人が参加できる様にと望みます。
  - ・私の参加のときは大学側はただ参加していると言う感じだった(実習自体は現場なのでもちろんだが)。大学側と連携を密に行うようなWSがあればいいと思う。
  - ・私の支部の指導薬剤師の人数が伸びないので、もう少し誰でも参加できる簡素なものにしてほしい。
  - ・私はたまたま他県のワークショップに参加しましたが、他の地域の薬剤師のかたと交流できて非常に有用でした。
  - ・私は退職間近で、後継者が指導を負担と感じている。負担ではなく、学生と共に成長する機会だと啓蒙してください
  - ・私達に求められた教育方法が、自分たちが受けた教育と異なることを認識することが最も重要であると思う。その為には自ら経験することが大切なので、ワークショップに参加して得たものは大きかった。カリキュラムについては、例を挙げて作成を行ったが、実際にたてなければならぬカリキュラムの量が膨大過ぎて、当時は何から手をつけたらよいかわからなかった。実際の実習準備とワークショップが繋がりにくいのはその点である。ワークショップを受けたからと言って準備万端には全くならないので、不安は残ったままだった。ただ、前例のない初年度だったために不安や準備の大変さは仕方のないことかもしれない。
  - ・事前にスケジュールが解っていても良いのではないかとと思われる。
  - ・時間がたつとよく覚えてない 形成的評価と参加型実習、ワークドキドキは印象に残っている
  - ・時間との戦いで大変でしたが、とても良い経験ができました。他県からも大勢の方が参加されていたので、決められたユニットのSGDだけでなく、フリーなSGDの時間がもてればもっと良かったように思います。自分自身の反省点としてもっと深くワークショップの意義を理解して参加すればもっと有意義な時間になったと深く反省しています。
  - ・時間的に拘束されますが、指導する側の意識を高めるためにも必要なことだと思えました。薬剤師全体のレベルアップが求められていると思えます。
  - ・自身の勉強にもなり、薬剤師としてのモチベーションも他の方と話し合う事により向上した。
  - ・実際に現場ではワークショップの内容＝実務実習の内容ではないと感じる。進め方・教え方・今の大学側の方向性が、具体的に伝わるように望みます。大学によって担当教諭に大きな差を感じる。
  - ・実際に現場で実務実習を行う若い薬剤師を教育してほしい
  - ・実際に実習を開始するとやはり教えるということのむづかしさを実感しています。ワークショップで一緒だった方たちとの再会などで意見交換ができたりすると今後もがんばろうという気持ちも高まると思います。
  - ・実際に実務実習が始まっているので、事例報告として、問題があった内容や、それに対する改善策などがあれば、教えていただきたい。
  - ・実際に実務実習を経験した薬剤師がチューターとして参加すべきではないでしょうか
  - ・実際に実務実習を行っている薬剤師とのディスカッションがあれば具体的な場面での指導法を今後の参考のために聞きたい。
  - ・実際の業務に参考になるテーマについて
  - ・“実際の実習の評価にあたりすべてを一人で立ててすることは不可能。
  - ・ワークショップは必要であるが、さらに評価基準に関してもっと簡単にわかりやすい講義にして欲しい。
  - ・(薬局業務を行いながら片手間でとてもできない)
  - ・ワークショップ内容は覚えてはいるが、実際の指導に合っ

い気もする。”

- ・ 実際の実習生を受け入れるまでに間が開きすぎていて、正直ワークショップの内容を忘れていたの也有ります。もっと直前に復習と実務を兼ねて出来るような内容を希望します
- ・ 実際薬局によって違いがありすぎる。面薬局をもっと増し、医師と対等になれる教育をする。
- ・ 実施回数が少なすぎる。WS が受けられないために、指導薬剤師の登録ができない者が多いように思う。
- ・ 実施数が少ないので、受講機会を増やしていただければと思います。
- ・ 実習が始まる前にワークショップを受けたので、個人的には何のために何をしているのかよく分からない状態でした。実際に実習が始まる時点でも、評価についてなど暗中模索の状態でしたので最近になり徐々に、形ができてきたような気がします。今度はこの実習を継続していくにはどうすれば効率的か？などの課題が出て来たように思います。
- ・ 実習が始まる前の参加だったため、実習時には WS の内容は忘れていた。今、WS に参加すれば活用できることがあるかもしれない。
- ・ 実習で本当に重要なのは患者対応です。細かな項目で時間が割かれ、十分な時間が確保できません。
- ・ 実習の為というわけではなく、薬剤師として何が出来るのかを考える良いきっかけとなったと思う。
- ・ 実習まで時間がない場合にワークショップを講習しても役に立つのでしょうか？ワークショップは、学生時代に経験させておく事も意味があるのではないのでしょうか。
- ・ 実習を終え、社会で薬剤師として仕事を始めた方たちに 経験した実習ではどのようなメリット・デメリットがあったか教えて欲しい。一つ一つの理解は全体として難しかったが 終わってみると全体像が見えた気がした。知識としてとても役に立つことだと思う。機会があれば学びたい。
- ・ 実習指導においてだけでなく、自分の人生において大変有意義なものになった。薬学だけでなく様々なところで検討する手法として活用できていると思う。しかし年数が経つにつれ、WS の印象が薄れていっている現場もあるように感じている。その検討が必要ではないかと思う。
- ・ 実習生の受け入れが第Ⅲ期であったため時間がありすぎワークショップでやった内容がわからなくなり指導するのに戸惑った。また、もう少し具体的にどのような指導をすればよいのかアドバイス的なことが欲しかった。それぞれ施設により状況は、異なり統一できないと思うが最低限やらなければならないことが知りたかった。そのために実習生に迷惑をかけてしまったのではないかと心配です。また、今後は、実際にどのようなことを各施設で実習で行い実習生に好評であったことなど、他施設との情報交換の場を作ってもらいたい。
- ・ 実習生の知識や能力は個々で違うが、実務実習ではどのくらいのレベルまで習得させればよいのだろうか
- ・ 実習生受け入れにおいて、薬局の状況等で指導内容になるべく差が出ないように、具体的に詳細のワークシートがあると、教えやすく漏れがないような気がします。
- ・ 実習生受入経験ありの薬剤師同士の意見が聞きたいです(よかったこと、問題点など)。単に意見のみでなく、ワークショップであれば内容を理解、解決法も出てくるのではないかと思います。
- ・ 実習先レベルの差の解消とレベルアップの為の、フォロー。
- ・ “実習内容に直接指導できるような事項などもあり、今後は定期的なワークショップ(すでに認定薬剤師)をして、指導する方もスキルアップする必要があると思う。
- ・ H22、最後のワークショップに参加した時は、逆に不安材料が残り、指導に関する具体例や失敗例などの事例が少なかった時期でもあるので、色々な先生方の意見交換をしてみたい。”
- ・ 実務経験 5 年の枠を外しても良いと思う
- ・ 実務実習と同じように、WS も何回か参加すると様々なことが理解でき、実務実習のみならずいろいろなことに活かすことができると思います。もつばら、周りの指導薬剤師は、WS に参加することで自然と身について、実務実習に活かされていることが、解らないのではないかと思います。
- ・ 実務実習に関わる全ての指導者が職域を越えて共通の認識が持てるようなWSが望ましい
- ・ 実務実習に係わる全ての薬剤師の資質向上と、実務実習に対するモチベーションを維持していく必要性
- ・ 実務実習の為の認定薬剤師、認定薬剤師の為のワークショップを考えると疑問に思う。学生実習で大切な事は患者との対応(臨床)を実践でき、それを通して学ぶ事が重要と思う。自らの知識を持って臨機応変にケースバイケースでの対応を取る事である。もともと医・歯系はほとんどのケース臨床を経験して、多岐に活躍する事となるが薬系の場合そうでないケースが多い。もう少し経験の長短はあるにせよ現場で第一線にいる薬局薬剤師にももう少し焦点を置いてはどうでしょうか(結局は薬局が受け入れる事になっているが)
- ・ 実務実習は学生主体ですから仕方がないのですが、ワークショップ自体は薬剤師等の学習の場です。教育者(大学の先生方)の考え方が多い気がして、専門的すぎて難しく感じました。理解しにくいのもっとソフトに受講できないでしょうか？
- ・ 実務実習までに何度か行ってほしい。
- ・ 実務実習まで参加して期間がたったので、忘れていた部分がかかりありました。
- ・ 実務実習を行うために指導薬剤師10000人を早急に作り上げることは、必須だったと思いますが、本当に薬学教育に意欲のある方が指導薬剤師になっているのかが疑問です。ワークショップを受講の際、SGD で、県の薬剤師会の上の人が一緒にでしたが、行政批判やネガティブな発言が多かったのが気になりました。本当に残念です。
- ・ 実務実習指導のための理論・定義について、理解しました。専門用語を理解した上で、当てはまる答えを作るのに苦労した。
- ・ 実務実習指導薬剤師が自分達の社会的責務について自覚できる内容を期待する。
- ・ 実務実習指導薬剤師の養成は、教育者として医療人としての人間性の問題が大変重要ですが、勤務先の薬局や経営者の認識、社会貢献の意識が低い方が多く、現場の意識が底上げされれば、もっと情熱を持って頑張れると思います。
- ・ 実務実習受け入れの必要性和その対応にさらなる理解・認識が必至かと思えます。また薬剤師自身が、認定実務実習指導薬剤師になりたいと思う気持ちにならない限り広がりは無いと思います。もっとベースの部分でワークショップが広い範囲でそういった方面の啓発ができればよいと感じました。
- ・ 実務実習受け入れの4年前の WS 受講で、受講後もなかなか具体的な実習イメージに結びつかない感じがします。
- ・ 社会全体の広い視野から現状(今後あるべき姿)を確認していかなくてはならないと感じている。
- ・ 若い人の参加を、もっと出来るように。参加人数が限られ、参加希望しても叶わず。
- ・ 若い薬剤師の方を中心に行われたら良いと思います。
- ・ 若手の指導者育成のため、卒後5年くらいで指導薬剤師になるよう、半強制的に参加させて欲しい。
- ・ 受け入れた学生数が多くなっていますが、支店、系列店内の5名の指導薬剤師で複数の薬局を使用して、分担して指導をしたため全体での受け入れ人数を記載しています。
- ・ 受け入れた学生数が多くなっていますが、支店、系列店内の5名の指導薬剤師で複数の薬局を使用して、分担して指導をしたため全体での受け入れ人数を記載しています。
- ・ 受け入れた学生数が多くなっていますが、支店、系列店内の5名の指導薬剤師で複数の薬局を使用して、分担して指導をしたため全体での受け入れ人数を記載しています。
- ・ 受講を希望した薬剤師は必ず受講できる体制づくり

- ・受講後4年経過。実務実習開始前、フォロー研修(記憶の呼び起こす内容)受講。
- ・受講者をもっと増やして、受け入れ薬局の増加を計ってほしい
- ・受講人数が制限される為なかなか指導薬剤師が増えている実感が無い。
- ・修了後何年も経った今にアンケートをとる意味はあるのか？学んだ内容はおぼえているがワークショップ体験そのものはどうに忘れていて。認定を受けた者に対するフォローup は教育学的なアプローチの掘り返しではなく、①各施設での工夫、②学生の感想から得た良かったアプローチ、悪かったアプローチなど今後に応用できる内容にして欲しい。教育学的なアドバンスワークショップは時間のムダなので出席しない。
- ・集合研修を行うに当たり講師になる先生を指導薬剤師として認定するワークショップ
- ・初めての経験でとても戸惑いました。日頃業務を行なっているときは全く違う物事のとらえ方、考え方、まとめ方。理論的に考える方法の一つだと思いましたが、自分の考えと結構隔たりがあったのか、期間中はあっという間に終わってしまい、終了してからのほうがゆっくり理解、かみしめることができたような気がします。
- ・初めての経験で最初は戸惑いがありましたが、終わってみればとても有意義な研修でした。
- ・初回以外にも、テーマを変えたより具体的な内容のWSを定期的に行うべき
- ・小規模で短時間のものを頻回に実施していただいたほうが参加しやすいと思います。
- ・小規模薬局では、学生と討議している時間的余裕がない。どうしても「指示」になってしまう。
- ・情報を咀嚼する時間は人により異なります。短時間で多くの情報を詰め込まれる苦痛を感じました。
- ・色々な立場の人と意見交換できたのは 有意義でした。
- ・申し訳ありませんが、ずい分前のことなのであまりはつきりと記憶に残っていません。
- ・申し訳ございません。ワークショップ自体が有意義だったことは確かですが、4年経ってほぼ忘れてしています・・・。
- ・申し訳ございませんが、6年前のことと内容を詳しく覚えていません。
- ・人を育てることが良く分かりました。相手の理解度を確かめながら導くということが実感できました。
- ・人間としての成長が出来ました。ありがとうございます。
- ・人的資源が不足してしまいますが、欲を言えばアドバンワークショップを1年に1回以上定期的に行い、自己研鑽・各指導薬剤師間の実務実習の情報交換の場を多く設け、実務実習や将来のハイレベルな薬剤師養成を行って欲しいと思います。実現されるなら、もちろん予定が合えば積極的に参加させていただきたいと思います。
- ・数年前のことなので、実際のところほとんど記憶がありません。ごめんなさい。
- ・正直、課題をこなすだけで一杯一杯でしたけど、普段接することのない病院薬剤師のみなさんや大学の先生方の話が聞けて有意義だったと思います。
- ・正直2年前で用語が理解できず、記述は書けませんでした。参加したこと自体に意義がありました
- ・正直に言ってワークショップではこんなこと出来るのだろうかと思ってしまうくらいでしたが・・・時代は変わっていくので実習も当たり前ようになりますが、あまり現実離れた教育という立場からではなくアプローチして頂けるとありがたいと思いました
- ・正直受講して2年経過すると、概念は覚えていても細かい項目までは記憶が定かではありません。このアンケートの質問内容が何を聞きたいのかわかりにくい。もう少し単純な質問形式にしてほしい。
- ・正直申しまして、2年以上前に行ったWSの内容は忘れてしまっていることが多いことに気付きました。
- ・生徒の都合ではなく、大学側の都合、意見が反映さず、受け入れ側の病院・薬局側の意見が、ほとんど反映され低いように思いました
- ・折角のアンケートですが過去過ぎて思い出せないことが多い
- ・全体をとおしては達成感はあったものの、他の方の前でうまく意見がだせなかったのが自分の欠点だったように思います。
- ・他の医療提供者と一緒にワークショップ
- ・他業種の方との情報交換はとても有意義であり、職務に活かすことができた。今後も定期的に参加できたらと思う。
- ・他業種の方との情報交換はとても有意義であり、職務に活かすことができた。今後も定期的に参加できたらと思う。
- ・他職種とのコミュニケーション以外ワークショップの位置づけがあまりよく理解できませんでした。
- ・多くの薬剤師が参加を受け入れられる様、受講機会を多くし、間口を広げていただきたい
- ・多職種の方と交流できたことは視野が広がったが、できれば繋がりを継続できる場があれば良いと思いました。
- ・“大学が日本薬剤師会に近寄りすぎていると思う。日本保険薬局協会(NPha)や日本チェーンドラッグストア協会とも協力していかないと、薬学教育はバランスが悪いと思う。セルフメディケーション(OTC)項目など・・・。
- ・WSに参加できず、指導薬剤師を取れない薬剤師でも薬学生実習に適した薬剤師はたくさんいます。”
- ・大学側からの目線ではなく受入施設側にたったWSが必要
- ・大学側の本音が聞きたい。実務実習は必要だろうが、今のやり方で本当に良いのか？調整機構を通しての割り振りがどれだけ必要なのか？さらに大学によっては実務実習はおかざり、単なる通過儀礼だと割り切っているところがあると聞く。その大学は自学で独自に行っている実習の方を重要視していると聞く。
- ・大変だと思っていたが、実際いろいろなかと知り合えて楽しかったです。
- ・大変な面もあったがいろいろな人たちと接し、考え方が理解できたことがよかった
- ・大変にしんどかった思い出だけが、残っております。初めて耳にする言葉が多く、その時は理解できても、今となればほとんど忘れてしまっております。すいません。
- ・大変充実した内容だったので、今後もより充実したワークショップを期待しています。
- ・大変申し訳ないことですが、ワークショップを受講した時は、まだ、薬剤師経験も浅く、今回の実習性の受け入れまでに随分時間が空いてしまったので、あまりワークショップの内容を実習生の受け入れに活用できませんでした。実際の受け入れは、実習生受け入れマニュアルの様な書籍を購入してそれを参考にやらせていただきました。今回のアンケート内容についても、良く分からない事が多く、あまりお役に立てず申し訳ありませんでした。
- ・第1日目はわからないままに時間に追われた印象だったので、もう少し時間的に余裕があればと思った。
- ・第一に、ワークショップを実施する前にどうして開局薬剤師と2~3年時間をかけて話し合いをしなかったか疑問です。私はワークショップに参加してびっくりしたのは、ワークショップの内容は理想と現実があまりにも違いすぎたことです。例えば神奈川県でいえば、門前薬局が8割と言われています。そもそもこの事が医薬分業の諸悪の根源になっていると確信しています。これではワークショップでやろうとしている事自体を周知徹底させるのは不可能だと思います。なぜなら薬局には施設基準薬局と基準薬局があって、一般的には施設基準薬局は在庫も薬剤師(人材)も営業時間等もちゃんとやっている所だと認識しています。基準薬局は医者の開業時間に合わせて営業し、医者にあわせて必要最小限の在庫と人材でなりたっていると思いま

す。基準薬局にも施設基準薬局なみの所があると聞いたことはあります。つまり、施設基準薬局と基準薬局の二重構造そのものが問題になっていると思うので、それをクリアしない限り矛盾が生じて実習をうけた生徒からも不満が噴出して来るのかと心配しております。現によその薬局で実習をしている生徒がこちらの薬局に来て不満をぶちまけて帰った子がいます。どうしてうちの薬局に来てそれを言ったか理由は分かりません。そういう子達に3ヶ月は長すぎてかわいそうだと思います。第2にワークショップをやられている大学の先生方にもお願いがあります。実習をうけた薬局がその子にとって理想の薬局であれば、ぜひ先生方も就職を積極的にすすめていただきたい。今後ワークショップの制度を続けていくのであれば、就職したい生徒が就職できるような制度及び伝統を確立してほしい。私個人としては、お金や大学の方針で実習生を受け入れているつもりはありません。先輩が後輩を指導するという精神でもって実習生を受け入れております。この辺をどうかご理解いただきたい。この制度がますます御発展される事を祈っています。

- ・短い時間であるにもかかわらず、考えさせるというよりも、覚えさせるという感じがした。簡単なことも難しい用語などで、とっつきにくくして難しくしてしまっている。
- ・短期時間の研修でもよいので、研修の機会を増やしてほしい。
- ・短期集中はよいがその後の継続的な開催があればよい(普段の活動では使わず忘れてしまったことも多いので)
- ・値段をもう少し安く、できればみんなに参加させた。
- ・地の利の良いところでの開催をお願いいたします。
- ・地域ごとの単位であつまって意見交換、実習の協力、実習生の交換などをして実習のレベルを上げていきたい。
- ・地域の取りまとめ役をやっていますが、実習施設数が既に減少傾向が見られます。もっと門戸を広く、難易度を下げないと今後指導薬剤師になろうという人間が枯渇します。
- ・地方では、なかなか参加の機会に恵まれません。開催に際しての準備が大変だとは思いますが、参加機会が増えることを望みます
- ・土曜日なら2時以降にいただけたらうれしいです。
- ・東三河地区から金城学院大学への参加は、時間・費用的にかなり負担がありました。ただ、さまざまな経験をお持ちのタスクフォースの方々や、日頃接する事の少ない病院薬剤師や大学教員の方々とは知り合い、議論できた事はとても貴重な経験でした。
- ・当日、お世話になりました、都薬、大学の先生方へ感謝します。
- ・同じ業種でありながら、地域や機関により意識や業務内容の違いに気がつく機会を与えて頂くと感謝しています。
- ・同じ志を持った薬剤師が集まらなければワークショップは進まない
- ・同じ認定薬剤師でも以前の取得者と新しいスケジュールで認定をとった薬剤師で違いはないのかと思う。そういった意味でフォローアップは必要だと思う。
- ・同じ薬剤師でも職種や環境が違うと考え方も様々で、色々な意見が聞けたので、大変良い勉強になった。実習に対する意識や意欲も高まり、参加して良かったと思う。
- ・得たものは多いが、ディスカッション以外の時間に(やむを得ない事情は理解できるが)余裕が欲しかった。受け入れ施設の差による実習の質に疑問。
- ・内容がすでに参加者に通じていることも多く、実務実習前と開始以降で同じような内容ではあまり意味がなくなっているように思う。
- ・内容が詰め込みすぎで、未消化で後に残らない。重要な点のみ、シンプルにしてほしい。
- ・内容によっては定期的に行なった方が良いのでは？情報交換が広い範囲できると思ます。
- ・内容的にVTR形式はやめて人件費は掛かるがタイムリーな内

容をするべき

- ・難しい内容も多かったですが、意義は教育という観点での意義は多いにあったと思います。
- ・難しい用語が多いので略さないで話した方がよい。アンケートはもっと早い時期にやらないと覚えていない。
- ・日本薬剤師会が24年度からスタートさせる『日本薬剤師会新生涯学習』との連携を強く望みます。
- ・認定実務実習指導薬剤師にはなりたけれど、WSでのSGDが嫌とのことで、参加を躊躇している方もいます。そんな方でも学生への指導は熱心に行ってくれています。WSでのSGDは必要なのでしょうか・・・？
- ・認定実務実習薬剤師になる為にはあの集中したワークショップは必要だと思うので、今後も続けて頂きたいです。
- ・認定薬剤師基準の期待値を少し低くし、多数の認定薬剤師をワークショップにて任命。
- ・年間何回も行なうと良い
- ・発表するのが苦手、自分の意見を言うのが恥ずかしいと言う人が参加されるのはいかがなものか・・・
- ・半日でも良いと思います。
- ・非常に勉強になったのですが、実習開始まで期間があったため記憶が薄れてしまったため十分活用出来なかったように思います。
- ・非常に良い経験になり、業務にはもちろん私生活にも役だっています。参加して5年経過しているので、またの機会があれば参加したいです。
- ・病院と薬局でそれぞれ特徴のあるカリキュラムが組めることを目標とするワークショップ
- ・普段かかわりのない、病院薬剤師の方、大学教員の方と交流が持て、意見の交換ができるのが有意義です。
- ・普段の業務ではしないことを体験し、精神的にきつかったが、いい体験になったと思う。
- ・普段無い体験として、大変有効な場。
- ・分刻みで進められる内容に、一生懸命遅れまいと受講し、終わったときの達成感はずいぶん以上でした。しかし、実習までに大半は忘れ、忙しい現実の中では理想どおりにはいきません。難しい言葉を使わず、もっと簡潔にできればと思います。
- ・平成18年の受講で23年アンケートでは忘れていたことが多くアンケートの役に立たないのではないかと感じています。実務実習も個別指導なので、個々のレベルに合わせて説明する必要があり中々授業のような理由にはいかないと感じています。また、教えてもこれから国家試験なので、どんなに優秀な人でもほとんど忘れてしまうのではないかと感じています。実務実習自体の今後は考える必要があるのではないかと？
- ・平成19年受講なのに、今頃ワークショップのアンケートが来て、記憶が薄れている部分もある。
- ・保険薬局の現場を大学教員に理解して欲しい
- ・忙しい中、日常業務を行いながら実習中にワークショップで学んだように実習を行うのは難しいと思った。
- ・毎年、開催して欲しい
- ・毎年の参加者定員が少ない。指導薬剤師数を増やすためには、日程や枠の増加を期待します。
- ・目的意識を持てなかった・結果的に義務感だけで参加した形になった
- ・約3年前に受けたので内容をほとんど忘れました。
- ・薬学教育発展のため継続研修をお願いしたいです
- ・薬局の仕事をやりながらの実習で、ワークショップで習ったような細かい所まで討論して、カリキュラムをつくれないうのが現実です。でも、考え方、評価の仕方など、根本的なことを分かってやるのとやらないのでは、全く違うので、ワークショップで教わったことは大事だったと思います。もう少し余裕がでてきたら、薬局スタッフで話し合っ、カリキュラムをつくり、薬局全体で実習に取り組んでいけるようにしたいです。
- ・薬局内において実務実習指導薬剤師は一人しかいません。

日々の業務に追われる中、一人でのカリキュラム作成や指導は時間的に無理がでできます。なるべく大勢の実務実習指導薬剤師の早期の育成をお願いします。

- ・ 薬局薬剤師、病院薬剤師、大学職員など同じ薬剤師でも職種により考え方も異なり、また年齢も違う薬剤師が利害関係なく、一つのテーマで話し合うことは自分の中ではとても新鮮であり有意義な時間をすごさせてもらいました。
- ・ 薬剤師がおかれている医療現場のについてこのままでいいのか、常に危機感をもっていますが学生も一部大学の先生方も意識が薄いように感じます。薬剤師が患者のために何ができるか、これからのなにをしなければならないかをワークショップで具体的に考えて頂ければ幸いです。なおワークショップに随分前に参加しましたので回答が一部忘れてしまっているな点多くの未回答があります。また希望部分ですで行われていることがあるかもしれません。
- ・ 薬剤師としての職能や意識向上が図られる内容であればなんでもいい。教育とは、共育である。
- ・ 薬剤師なら誰でも受講し易い環境作りをお願いします。
- ・ 薬剤師会が主体となっているが、薬剤師会に入っていないチェーン薬局やドラッグストア協会にもっと協力をよびかけたらいでしょうか？
- ・ 予備知識もなくいきなりだったので、何をやったのかも理解できなかった。後になり、あれはこの為のものだったのかと理解できたが、下知識のうえにワークショップでの知識を積み重ねたほうがはるかに理解が早いと思う。
- ・ 良く分からない

